

平成 25 年 第 10 回定例会

# 岩見沢市教育委員会会議録

平成 25 年 10 月 15 日 開会

平成 25 年 10 月 15 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成25年 第10回定例会  
岩見沢市教育委員会会議録  
(平成25年10月15日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第10号 教育長の一般経過報告について
  - 2 議案第45号 平成25年度岩見沢市教育振興表彰について
  - 3 議案第46号 岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターの指定管理者の指定について
  - 4 議案第47号 岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールの指定管理者の指定について
  - 5 議案第48号 岩見沢市栗沢文化センターの指定管理者の指定について
  - 6 議案第49号 岩見沢市民会館運営委員会委員の委嘱について
  - 7 議案第50号 岩見沢市文化財保護委員会委員の委嘱について
- そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子
教 育 長	舛 甚 和 俊

教 育 部 長	名 和 田 勉
学校教育・生涯学習担当次長	今 野 幸 広
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	柴 田 勤
子 ども 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	勝 田 真 澄
緑陵高等学校事務長	佐 藤 昌 明
事務局学校教育課総務係長	藤 本 耕
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後2時00分 開会

○武蔵委員長 ただ今から平成25年第10回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、大橋委員にお願いいたします。

初めに日程番号1、報告第10号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○舩甚教育長 平成25年9月13日から10月8日における事務処理の概要について、ご説明申し上げます。

9月13日、市議会第3回定例会がありました。また、教育振興会教育研究大会が行われました。

18日、適応指導教室収穫祭があり、市立病院の藤根先生も来られまして、児童・生徒6人ほどと一緒に、収穫した野菜を使ってカレーライスを作り、皆さんで食べてきました。

20日、教育振興表彰選考委員会がありました。候補者については、後ほど議題に上がります。

25日、空知へき地複式研究大会岩見沢大会がありまして、メープル小、美流渡小を会場に授業研究が行われました。

27日、学校給食試食会がありました。今回は18名に参加をいただきました。

10月2日の開基130年・市制施行70周年記念式典では、中央小、岩小、緑中の子どもたちも合唱に加わり、大変いい式典になったと思っております。

以上です。

○武蔵委員長 ただ今、教育長から報告がございましたけれども、委員の皆様からご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

○大橋委員 前回の第9回教育委員会定例会にて、教育長から市議会にて教育に関して議員7名から一般質問がございましたという話がありました。13日に定例会が終了したということですが、耐震診断に伴う校舎改築等についての質問があったのかどうかを教えてください。ただければありがたいと思います。

○舩甚教育長 いいえ、ございませんでした。

○大橋委員 これからの見通しですとか、タイムスケジュールなどについての一般質問はありませんでしたか。

○舩甚教育長 ありませんでした。通学区域審議会については質問がありましたので、そちらについては議会答弁しております。

○大橋委員 ありがとうございます。

○名和田教育部長 補足ですが、よろしいですか。

耐震診断等については、補正予算およそ3,500万円を計上し、こちらの議案は議決されています。

○大橋委員 はい、ありがとうございます。

○武蔵委員長 よろしいですか。

○大橋委員 はい。

○武蔵委員長 では、他にございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ、本報告については終了いたします。

続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○名和田教育部長 それでは、6議案についてご説明いたします。

議案第45号、平成25年度岩見沢市教育振興表彰について。

文化功労1名、体育功労4名の、被表彰者の選定についてご審議を願うものであります。

次に、指定管理者関係で、議案第46号、岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターの指定管理者の指定について、議案第47号、岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールの指定管理者の指定について、議案第48号、岩見沢市栗沢文化センターの指定管理者の指定について。この3議案については、平成26年3月31日をもって指定管理期間が満了となる各施設の平成26年4月1日からの指定管理者の指定について、第4回市議会に上程するためご審議を願うものであります。

議案第49号、岩見沢市民会館運営委員会委員の委嘱について。

平成25年10月19日をもって現委員の2年間の任期が終了となることから、次期委員の委嘱についてご審議を願うものであります。

議案第50号、岩見沢市文化財保護委員会委員の委嘱について。

平成25年10月15日をもって現委員の2年間の任期が終了となることから、次期委員の委嘱についてご審議を願うものであります。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、日程番号2、議案第45号 平成25年度岩見沢市教育振興表彰について 審議いたします。

説明をお願いします。

○加藤学校教育課長 議案第45号についてご説明申し上げます。

平成25年度岩見沢市教育振興表彰につきまして、各課から推薦を受けまして、去る9月20日、選考委員会を開催し、本日の議案にあります5名の方を選考いたしました。

被表彰者の選考内容につきましては、推薦団体からの推薦を取りまとめた生涯学習・文化・スポーツ振興課からご説明を申し上げます。

よろしく申し上げます。

○柴田生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、本日の議案にあります、5名の被表彰者の実績等について、添付の資料に基づきまして順次説明をいたします。

最初に、文化功労の西美彌子氏でございます。推薦団体は、岩見沢文化連盟でございます。

西氏は、25歳から生け花教室を開き、永年にわたり、生け花の普及発展と地域文化の

向上発展にご尽力されております。

特に、岩見沢カトリック文化センターの講師や教育大生の華道指導、旧北村教育委員会からの要請による公民館における指導、岩見沢緑仁会病院での指導など、各地域の行事などに熱心に取り組まれております。

また、平成5年から現在まで、北海道生け花連盟の常任理事、企画運営委員を務められており、平成7年からは岩見沢文化連盟の理事として、毎年、文連芸術展華道部門で指導的役割を果たし、永年にわたり、市民の文化祭実行委員の中心となってお活躍をされております。

以上のことから、岩見沢市教育振興表彰基準第2条第2号、教育関係諸団体の役員として同一の職に10年以上在職した方ということで推薦させていただきます。

次に、体育功勞の石井健一氏でございます。推薦団体は、岩見沢剣道連盟でございます。

石井氏は、昭和48年に岩見沢剣道連盟の会員となり、日々研さんする傍ら、市内の青少年の指導に力を注ぎ、市民会館別館体育館や幌向小学校などで30年間にわたり指導し、地域青少年の健全育成に大きく貢献されるとともに、剣道の普及に努められております。

特に、平成21年に幌向剣道クラブの子どもたちを、北海道代表として全国道場連盟剣道大会へ導いた功績は多大であります。

また、平成5年から平成19年まで、岩見沢剣道連盟副会長として剣道連盟の発展に寄与されるとともに、市内の剣道大会では、審判長など大会役員として永きにわたり、運営に貢献されております。

平成12年に岩見沢市で開催された東北・北海道対抗剣道大会では運営を指揮し、大会の成功にご尽力をされております。

以上のことから、表彰基準第2条第2号、教育関係諸団体の役員として同一の職に10年以上在職した方ということで推薦させていただきます。

次に、同じく体育功勞の田中賢治氏でございます。推薦団体は、岩見沢弓道連盟でございます。

田中氏は、昭和51年に岩見沢弓道連盟の会員となり、昭和54年から現在まで、34年の永きにわたり、役員として連盟の発展に寄与されております。

現在の東山公園弓道場建設時には連盟理事として、岩見沢弓道連盟創立50周年記念事業の開催時には、理事長として連盟を取りまとめるなど、多大なご尽力をされております。

また、学校教育で培った経験を生かし、30年にわたり、連盟主催の弓道教室の講師を務め、幅広い世代の初心者指導に当たり、後進の育成と弓道普及に力を注がれております。

さらに、バレーボール協会理事や陸上競技協会の理事など、弓道以外のスポーツの普及にも永年携わり、当市の未来を担う青少年の健全育成や中高年の健康維持・増進に多大な貢献をされ、生涯スポーツの振興を図ったその功績は多大であります。

以上のことから、表彰基準第2条第2号、教育関係諸団体の役員として同一の職に10年以上在職した方ということで推薦させていただきます。

次に、同じく体育功労の中川甫氏でございます。推薦団体は、岩見沢市軟式野球連盟でございます。

中川氏は、平成13年から現在まで、岩見沢市軟式野球連盟の理事長として、事業計画と事業開催運営に当たり、野球を通して市民の健康づくりや体力づくりに努められ、軟式野球の普及発展に寄与されております。

近年のスポーツの多様化や少子化により野球チームが減少傾向にある中で、チームの結成、選手の育成及び技術の向上にご努力されております。

特に、市民野球大会などの参加チームが減少している中で、大会内容を検討し、継続して運営している功績は大きく、さらに、岩見沢市で開催された各種北海道大会において、開催会場の責任者として大会運営にご尽力されております。

また、永年にわたり、岩見沢市体育協会の理事として協会の運営・管理にもご尽力され、協会の発展に寄与された功績は多大であります。

以上のことから、表彰基準第2条第2号、教育関係諸団体の役員として同一の職に10年以上在職した方ということで推薦させていただきます。

次に、体育功労の山口博子氏でございます。推薦団体は、岩見沢オリエンテering協会でございます。

山口氏は、昭和53年のオリエンテeringパーマネントコース、東山こぶしコースの開設に当たって、中心的なメンバーとなってご尽力されるとともに、永年にわたり、岩見沢オリエンテering協会の理事、事務局長又は研修部長として、オリエンテeringの普及と市民の体力向上に寄与されております。

また、現在の子どもたちの理科離れを憂慮し、オリエンテeringを通して子どもたちが自然を好きになるようにと、「コンパス・ウォークラリー」を実施して、地域や家庭で活躍できる人材の育成や青少年育成等に大きく貢献しております。

平成7年からは、スポーツ協力者の会に加入し、ウォーキングマラソン大会や市民歩け歩け大会において、参加された市民のサポート役として給水や誘導を行うなど、永年にわたり、岩見沢市教育行政の推進にも寄与されております。

以上のことから、表彰基準第2条第2号、教育関係諸団体の役員として同一の職に10年以上在職した方ということで推薦させていただきます。

以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第45号についての説明がございました。

9月20日の選考委員会を経て、文化功労1名、体育功労4名ということで推薦が上がっています。

これにつきまして、委員の皆さんからご意見等がありましたらお願いしたいと思っております。特になければ、このように決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、議案第45号につきましては、原案のとおり決定とさせていただきます。

できます。

続きまして、日程番号3、議案第46号 岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターの指定管理者の指定について を審議いたします。

説明をお願いします。

○柴田生涯学習・文化・スポーツ振興課長 議案の説明に入る前に、優先交渉権者の決定までの経過についてご説明いたします。

5月の定例会でご説明いたしましたが、教育委員会が所管する指定管理者導入施設27施設のうち、平成26年3月31日付けで指定期間が満了する5施設について、3つの枠組みで公募いたしました。

1つ目は、岩見沢スポーツセンターと岩見沢トレーニングセンター、2つ目は、岩見沢市温水プールと岩見沢市北村プール、3つ目は、岩見沢市栗沢文化センターでございます。以上について、選定委員会を設置いたしました。

委員構成は、庁内委員として、教育部長、子育て支援推進担当次長、生涯学習・文化・スポーツ振興課長の3名、庁外委員は、教育大学岩見沢校から山本理人氏と関鎮京氏の2名、社会教育委員からは佐藤恭二氏、北海道税理士会岩見沢支部からは飯田枢氏、施設利用者として、岩見沢文化連盟から岡嘉彦氏、岩見沢体育協会から前川信氏、岩見沢水泳協会から高松孝行氏の3名で、合計10名としました。

この構成につきましては、5月の定例会で協議いただいた委員構成と同じでございます。

7月12日に第1回選定委員会を開催して、応募要領や審査の内容等について協議し、市広報や教育委員会のホームページなどで周知を行い、7月17日から8月20日までの期間で募集をいたしました。

なお、施設管理期間につきましては、岩見沢市栗沢文化センターは老朽化が著しいことから、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間とし、他の4施設につきましては、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間としております。

7月24日に現地説明会を開催し、岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターには5名、岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールには4名、岩見沢市栗沢文化センターには3名が参加されております。

8月20日に公募を締め切り、3つの枠組みにはそれぞれ1団体の応募がありました。全て各枠組みの現在の指定管理者である団体でございました。

第2回選定委員会を8月26日に開催して、公募結果の報告と採点方法等の協議を行い、9月19日に第3回選定委員会を開催しました。

優先交渉権者の選定に当たっては、申請団体から提出された事業計画、収支計画等の申請書類の内容の審査を行うとともに、申請者からのヒアリングを行い、委員が採点を行って、採点項目の最高点と最低点を1つずつカットする方式を採用し、その合計点数が、満点評価額の6割以上をもって優先交渉権者として選定することとして実施いたしております。

それでは、議案第46号のご説明をいたします。

岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターの指定管理者の優先交渉権者は、東洋実業、パーフェクト・トレーナーズコンソーシアムです。

代表者は、株式会社東洋実業の代表取締役横田正弘氏で、所在地は札幌市中央区、指定の期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間です。

指定管理者の概要ですが、設立は東洋実業が昭和40年4月13日、パーフェクト・トレーナーズが平成14年4月10日となっております。

資本金は、東洋実業は7,380万円、パーフェクト・トレーナーズが300万円で、役員を含めた従業員数は、東洋実業が約3,700名、パーフェクト・トレーナーズが23名です。

主な事業内容は、警備業務や清掃及び測定等の事業、施設の空調、電気、給排水、消防設備等の運転保守、点検整備事業、スポーツやアスレチッククラブの建設、経営、スポーツ、医療、健康に関するコンサルタント業を行っております。

東洋実業は、主に施設の管理運営、パーフェクト・トレーナーズは、各種運動教室等の企画・開催や運動クラブのプログラム作成、施設利用のスケジュール管理等の部分を行うことになっております。

なお、施設の管理業務に対する応募団体の基本方針は、「スポーツを生活の一部に」を基本理念として、公共サービスの担い手、競技スポーツの活性化等を掲げております。

選定委員会の結果では、特に施設の管理運営と過去の実績への評価が高くなっております。

以上でございます。よろしくご審議をお願いします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第46号から48号についての、流れも含めてご説明いただきました。

議案第46号につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問ございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターの指定管理者に、東洋実業、パーフェクト・トレーナーズコンソーシアムをという提案であります。よろしいですか。

(「はい、結構です」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、ご異議がなければ、議案第46号につきましては、原案のとおり決定とさせていただきます。

続きまして日程番号4、議案第47号 岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールの指定管理者の指定について を審議いたします。

説明をお願いします。

○柴田生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、議案第47号についてご説明をいたします。



岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールの指定管理者の優先交渉権者は、セントラルスポーツ株式会社です。

代表者は代表取締役後藤忠治氏で、所在地は東京都中央区、指定の期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間です。

指定管理者の概要ですが、設立は昭和45年5月13日、資本金は22億6,117万100円、役員を含めた従業員数は、1,023名となっています。

主な事業内容は、スポーツ施設及びカルチャー教室の経営及び経営コンサルタント、スポーツ施設の企画、運営並びにその指導、体育指導員の養成及び派遣、一般労働者派遣、スポーツ・トレーニングに係る指導、遊戯施設等の経営、企画等と指定居宅介護支援事業を行っております。

申請者の指定管理業務に対する基本方針は、「市民の余暇の活用、体力増進及び心身の健全な発達を図る」ことを基本とし、スポーツ活動の充実として、生涯スポーツのきっかけづくりに貢献する、年間を通して、子どもから高齢者までスポーツに親しむ事業を開催する、スポーツ団体との連携を深め、地域イベント、市民参加型のイベントを行うなどを掲げております。

選定委員会の結果では、施設の管理運営、地域への貢献や地域との連携、過去の実績への評価が高くなってございます。

以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第47号についての説明がありました。

岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールの指定管理者に、セントラルスポーツ株式会社をという提案であります。皆さんの方から何かございますか。

(「異議ございません」という声あり)

○武蔵委員長 異議なしということですので、決定させていただきたいと思っております。

それでは、議案第47号につきましては、原案のとおり決定といたします。

続きまして日程番号5、議案第48号 岩見沢市栗沢文化センターの指定管理者の指定について を審議いたします。

説明をお願いします。

○柴田生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、議案第48号についてご説明をさせていただきます。

岩見沢市栗沢文化センターの指定管理者の優先交渉権者は、NPO法人くりさわプロモーションクラブ・空知パブリックメンテナンス共同事業体です。

代表者は、特定非営利活動法人くりさわプロモーションクラブの理事長澤田守氏で、所在地は岩見沢市栗沢町、指定の期間は、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間です。

指定管理者の概要ですが、設立は特定非営利活動法人くりさわプロモーションクラブが平成16年3月15日、空知パブリックメンテナンス株式会社が昭和53年2月3日となっ

ております。

資本金は、空知パブリックメンテナンス株式会社が1,400万円で、役員を含めた従業員数は、特定非営利活動法人くりさわプロモーションクラブが23名、空知パブリックメンテナンス株式会社が164名です。

主な事業の内容は、芸術、文化及びスポーツ団体の普及振興、スポーツ・文化サークルの企画運営に係る事業、清掃総合管理、警備保全業務及びそれに伴うサービス業務等、居宅サービス事業としての認知症対応型共同生活介護業務も行っております。

施設の管理業務に対する申請団体の基本方針は、「効率的な維持管理に努め、市民の財産、地域の財産、自分たちの財産との自覚に立ち、施設の有効活用に努める。施設は、築後40年余りが経過しているが、市民の大切な財産として保全に努める。自主事業を拡大するほか、市内外にPRし利用拡大に努める」などを掲げております。

選定委員会の結果では、特に地域への貢献や地域との連携、それと過去の実績への評価が高くなってございます。

以上でございます。よろしくご審議をお願いします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第48号についての説明がありました。

この件につきましては、3年間という期間になります。

委員の皆様、何か質問、ご意見ございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 よろしいですか。

ご異議がなければ、議案第48号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして日程番号6 議案第49号 岩見沢市民会館運営委員会委員の委嘱についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○柴田生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、ご説明申し上げます。

10月19日をもちまして任期満了となります、市民会館運営委員会委員の委嘱についてご審議をいただくものでございます。

9月の定例会で委員の選出方法についてご協議いただいたところですが、引き続き条例定数の上限でございます14名を選出いたしました。

初めに、社会教育関係者につきましては、社会教育委員の中から、高岡いづみ氏と尾崎和男氏の2名。

なお、尾崎和男氏につきましては、学識経験者から社会教育関係者へ選出区分を変更しております。

学校教育関係者につきましては、校長会から吉永洋氏の1名、学識経験者として教育大学岩見沢校から水田香氏と三橋純予氏の2名、地域文化団体からは、岩見沢文化連盟の黒滝賢榮氏と栗沢町文化協会の中澤一麻氏の2名、市民会館利用団体から岩見沢民謡連合会の内田克雄氏、裏千家淡交会岩見沢支部の佐藤展子氏、岩見沢短歌会の佐藤和子氏、コー

ルアイリスの大垣内恵子氏、岩見沢市和太鼓連絡協議会から高橋勝徳氏の5名、計12名を選出いたしました。

残り2名につきましては、市民の視点から意見をもらい、より一層の施設運営の充実を図るため、市民会館の運営及びサービスについて関心をお持ちの一般市民から公募を行いました。

市広報10月号や教育委員会ホームページなどで周知を行い、10月1日から10月11日の午後5時30分までの期間で募集し、2名の方から応募がありました。

本日、10月15日の10時30分から開催しました選考委員会におきまして協議を行った結果、応募のあったお二人とも選出することになりました。

市民会館運営委員会委員（案）の13番目の藤田淳子氏からは、近隣の町からも人が来るような企画が必要、活気ある市民会館で人がリラックスしてくつろげる広場として活用できれば、とのご意見がございました。

14番の杉山武志氏は、短歌の会や川柳の会の活動をされており、岩見沢市人材バンクに登録され、指導内容は文化・芸術全般となっております。文化、芸術を愛する者として絶えず発信し、文化を創造すること、文化を支えることを積極的に進めていく努力をしたい、とのご意見がありました。

以上、継続委員6名、新任委員8名を選出いたしましたので、ご審議よろしくお願いたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第49号に関する説明がございました。

既に委員会で周知のとおりですが、公募の委員を入れていくという形での選任でございます。

委員の皆様からご意見、ご質問ありましたらお願いしたいと思います。

特にございませんか。

○大橋委員 選考された委員さんについて異議はありませんが、前回にもお話がありましたとおり、今回から公募の方式をとっていくことにより、一層充実感が持たれるのかなど期待しております。委員の皆さんのご活躍を期待したいという気持ちでいっぱいでありませぬ。

以上、感想です。

○武蔵委員長 ありがとうございます。

是非、活性化した委員会活動をお願いしたいと思います。

それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○武蔵委員長 それでは、議案第49号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして日程番号7、議案第50号 岩見沢市文化財保護委員会委員の委嘱についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○柴田生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、議案第50号についてご説明を申し上げます。

今月、10月15日をもって任期満了となります、文化財保護委員会の委員の委嘱についてご審議をいただくものでございます。

9月の定例会で委員の選出方法についてご協議いただいたところですが、今回は、条例定数内の9名を選出いたしました。

選出に当たりましては、郷土史や歴史・文化などの分野に考慮しながら知識経験者として、建築家の青山哲夫氏、尾崎和男氏、久保進氏、村田文江氏、近藤寛氏、谷本晃久氏、土谷聖一氏、中島孝子氏の8名を選出いたしました。

なお、新任の村田文江氏は、教育大学岩見沢校と釧路校の元教授で、史学、日本史研究をされております。

同じく、新任の近藤寛氏は、郷土史を学ぶ会の会員で、建設会社を経営されております。

残り2名につきましては、文化財に関する知識がある新たな人材を発掘するため、一般市民から公募を行いました。

市民会館運営委員会の委員の公募と同じく、市広報10月号や教育委員会のホームページなどで周知を行い、10月1日から10月11日の午後5時30分までの期間で募集し、2名の方から応募がありました。

本日、10月15日の10時30分から開催した選考委員会において協議を行った結果、応募のあったお二人のうち1名を選出することになりました。

文化財保護委員会委員（案）の9番目の平瀬春吉氏は、「ほっかいどう学を学ぶ会」で活動されており、岩見沢市人材バンクに登録され、指導内容は生涯学習について、となっております。

文化財は、どのような歴史的価値があって、いかに多くの人々に関心を持ってもらえるかが大きな課題、地域と文化財の関わりが深まることが望ましく、残すための協力を得ることも大事、文化財の保護や活用を図る上で役に立ちたい、とのご意見がございました。

また、選出されなかった方につきましては、文化財保護活動の経験はないが、文化財について勉強したいということでありまして、文化財保護の考え方や活用方法についてのご意見はありませんでした。

文化財保護委員会の委員は、条例で「知識経験者のうちから教育委員会が任命する」と規定され、専門的な知識を必要とすることから、また、今回の公募の目的が、文化財に関する知識のある新たな人材を発掘することにあつたことなどから、残念ながら選考されませんでした。

以上、継続委員6名、新任委員3名を選出いたしましたので、ご審議よろしくお願いたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第50号についての説明がありました。

委員の皆様からご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

委員会は10名以内ということですので、9名ということで問題はないと思います。

それから、応募されたものの残念だった方については、是非、文化財について学びたいという点を、別の形で体験していただければと思います。

特にございませんか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 なければ、このようなことで決定させていただきたいと思います。

議案第50号につきましては、原案のとおり決定いたします。

それでは、その他に移ります。

委員の皆さん、何かお持ちの方いらっしゃいますか。

ありませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ、事務局の方からございましたらお願いします。

○町田学校給食課長 学校給食課から、3点程お知らせがございます。

まず1点目は、給食展の開催についてでございます。

お手元にお配りしました学校給食展のチラシに基づきまして、今年は10月19、20日の2日間にわたり、まなみーる岩見沢市民会館において、給食の試食や献立コンクールの表彰式、それから料理教室などを予定しております。

2点目は、緊急情報伝達訓練についてでございます。

今年度は、平日朝の食中毒の発生を想定しまして、発生初動時における教育委員会と小・中学校の間の迅速な情報伝達を図ることを目的として実施いたします。

日時につきましては、平成25年11月7日木曜日、午前8時30分から開始いたします。

今回の参加団体につきましては、市内の小・中学校全校、それから教育委員会ということで、学校と教育委員会の連携ということを主眼に置きまして実施を予定しております。

3点目が、生涯学習センターの開設記念事業におきます料理教室の開催についてでございます。

「給食センター栄養士が教える親子料理教室」と題しまして、11月10日にピザ、サラダ、スープ、デザートなどを、小学生の親子18組に作っていただきまして、いろいろ勉強していただくということを予定しております。

以上でございます。

○武蔵委員長 ただ今、学校給食課から3点報告がありました。

よろしいですか。

それでは、その他ございますでしょうか。

特になければ、来月の教育委員会の日程に移りたいと思います。

11月の第3火曜日は19日ですが、この日程はいかがでしょうか。

○加藤学校教育課長 19日は教育長が、公務のため不在ですので、20日の午後又は22日の午前はいかがでしょう。

○武蔵委員長 20日の午後か22日の午前ということですが、20日の午後はどうでしょうか。

○大橋委員 20日であれば午後3時以降でしたら都合がよいです。

○武蔵委員長 教育委員の希望としては、20日の午後3時からでお願いしたいのですが、よろしいですか。

○加藤学校教育課長 はい、結構です。

○武蔵委員長 それでは次回の教育委員会につきましては、11月20日午後3時より、この場所において開催いたします。よろしく申し上げます。

他にございませんか。

なければ、以上をもちまして、第10回教育委員会定例会を終了させていただきます。

大変ご苦労さまでした。

午後2時45分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名する。

署名委員